

## H3 ロケット試験機 1号機の打上げ失敗の原因究明結果について

令和5年10月26日

文部科学省

H3 ロケット試験機 1号機対策本部

本年3月7日のH3 ロケット試験機 1号機の打上げ結果を受け、文部科学大臣の指示に基づき、同日、対策本部が設置され、以降、原因究明及び必要な対策検討を進めてきました。

本日、JAXA の行う原因調査等を専門的見地から独立した目で調査審議してきた文部科学省の宇宙開発利用部会 調査・安全小委員会において、原因究明に係る報告書がとりまとめられ、宇宙開発利用部会において同報告書が了承されました。

打上げ失敗の直接要因として、第2段ロケットの推進系のコントロールを行う機器の下流で過電流が発生したと特定するとともに、故障シナリオとして、可能性を否定できない3つのシナリオが抽出され、これらの全てに対策を設定するという再発防止策が策定されました。加えて、背後要因分析に基づく対策や、今後の信頼性向上に資する改善策も策定されました。

文部科学省としては、本原因究明結果に基づく再発防止策等を真摯に受け止めるとともに、JAXA が万全を期して実効性ある取組を進めるよう、JAXA が設置した「マネジメント改革検討委員会」における今般の教訓の反映等に向けた議論を含め、フォローアップを実施してまいります。

なお、本年7月に発生したイプシロンSロケットの第2段モータの地上燃焼試験中の爆発事故については、JAXA における原因調査を文部科学省として引き続き注視し、適切な対策が講じられることを確保してまいります。

今後、H3 ロケット試験機 2号機は、必要な対策を施した上で打上げを目指すこととなります。文部科学省は、JAXA とともに、引き続き宇宙開発利用の推進に全力で取り組んでまいります。

原因究明に当たり、小委員会の専門家の方々と数多くのH3 ロケット関係者の皆様の御協力・御尽力に対し、感謝の意を表します。